

レースレポート

岡山大会開幕戦

4月9日(土)・10日(日)にFIA-F4選手権 岡山大会(第1・2戦) 開幕戦が岡山国際サーキットで開催されました。埼玉トヨペット Green Braveは先に行われた若手ドライバーの育成を目的とした、ドライバーオーディションで選考された石澤浩紀選手で開幕戦に挑みました。結果だけを見ると課題も残りますが、次戦に期待が持てるデビュー戦となりました。

初めての走行

チームは週末開催される水曜日(6日)にサーキット入りし、設営も含めた準備を開始しました。そして翌日からは走行練習を実施。石澤選手は実質初となる岡山国際サーキットの走行で、ウェットコンディションも重なり戸惑いながらも終始コース確認に徹した練習メニューを消化しました。

現実の厳しさを実感した練習走行

予選前日の練習走行は天候も回復しドライコンディションとなりました。番場監督のアドバイスを受けながら走行を重ねるが、思うほどタイムが伸びず TOP と力の差も歴然。この状況に石澤選手は自信を無くしているかのようにも感じられた。まだ、経験も浅く仕方がないことも知れませんが、これが勝負の世界で戦う厳しさなのです。速くなることに特効薬はなく一つ一つの課題を乗り越えて行くしかないのです。



2016年 GB 育成制度ドライバー石澤浩紀選手

期待と不安の予選

前日の練習走行で納得の行く走りが出来ず、迷いを払拭できていない様子の石澤選手。予選直前まで番場監督からのアドバイスを真剣に聞き入っていました。車両メンテナンスを担当するチームメカニックは石澤選手のために前夜は万全を期してメンテナンスを実施。少しでも速く走ってほしい気持ちは皆同じ、スプリントレースとは言えチームで戦っているのです。そんなチーム皆の気持ちを察したのか、石澤選手は気持ちを切り替え予選に挑みました。結果は納得できる順位ではありませんでしたが、迷いは少し消えたようにも感じられました。

埼玉トヨペット Green Brave

決勝レース

決勝レース(第1戦)は予選日の午後に行われました。チーム全員の思いを一身に背負い一斉にスタート。第1コーナーは無事走り抜け一安心したのも束の間、最終コーナーで不運な接触でコース外へと。何とかコース復帰するも開幕デビュー戦は、何ともほろ苦い結果で終わりました。しかし、このコースアウトが石澤選手にとって貴重な経験となることが、翌日の決勝(第2戦)で証明されます。

決勝レース(第2戦)は24番グリッドからのスタート。順調に周回を重ね18番手まで順位を上げる素晴らしい走り。昨日とは別人の走りを見せる石澤選手、その時またしても不運な出来事が・・・石澤選手の前を走行する車両が目の前でスピン。かろうじて接触は避けコースアウトするも直ぐにコース復帰、順位は再び下位へ移行した。しかし、昨日までの走りとは明らかに違い、攻めの走りに徹し順位を上げ23位でチェッカーを受けました。石澤選手に心境の変化を聞いたところ、「前日の決勝での接触とコースアウトで気持ちが吹っ切れました」とコメント。次戦の富士大会にご期待ください。



スタート前にGBドライバーの密山選手も応援に



激しいバトルを繰り広げる石澤選手

◆ レース結果(35台エントリー) 予選(晴れ ドライ) 決勝(晴れ ドライ)

第1戦 予選 27位(1分35秒797)
決勝 31位(13周 28分01秒668)

第1戦 予選 24位(1分36秒172)
決勝 23位(15周 24分26秒327)

※次戦は「富士スピードウェイ」にて5月3・4日に開催されます。

<FIA-F4 ご協賛各社>

株式会社アシスト・ワン

Total Advertising Agency
Assist one

株式会社FM NACK5

NACK5
79.5FM

株式会社ハッピーライフ彩生

株式会社 ハッピーライフ彩生
Happy Life Seisan

※50音順